

施策番号	2501		
施策名	幹線道路ネットワークの充実		
概要	円滑なひとの移動，物流を支える幹線道路ネットワークの整備を推進する。とくに，災害などの緊急時に傷病者の搬送，物資の輸送に必要な緊急輸送路の確保など市民が安心できる安全な道づくりを推進する。		
担当局・部室	建設局・土木管理部，道路建設部	共管局・部室	
上位政策	25 道と緑		
施策に関する主な分野別計画等	いのちを守る 橋りょう健全化プログラム，今後の道路整備事業の進め方		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 第1次緊急輸送路における道路改良延長(km)	d	a	0.06	0.004	0.01	40.0%	c	1.00	
2 緊急輸送道路における橋りょう耐震補強率(%)	a	a	84.2	84.2	91.2	92.3%	a	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-		
4 -	-	-	-	-	-	-	-		
5 -	-	-	-	-	-	-	-		
6 -	-	-	-	-	-	-	-		
客観指標総合評価		b	a					b	

#### 2 市民生活実感評価

設問	平成30年度	評価	令和元年度						令和2年度※
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1 災害時も安全に移動できる道路網ができています。	c	c	30 4.7%	142 22.3%	266 41.8%	126 19.8%	73 11.5%	637	-
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c						-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	この施策は、道路完成に至るまでは市民に成果が実感されにくいいため、客観指標評価を重視する。				
	<input type="checkbox"/> 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。
  - ・橋りょうの耐震補強や市全体の道路網の整備については、事業が進捗している一方で、その成果が市民に浸透していないことから、c評価で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業> (令和元年度又は令和2年度新規事業)

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		令和元年度決算額	令和2年度予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みません。

<今後の方向性>

- ・市街地において、緑の環境をどのように増やし美しく維持していくかを定めた「市街地緑化の在り方」に基づき、「どこを見ても庭園のように設えられている」緑の文化首都・京都を目指していく。
- ・日々の暮らしの中で京都の四季をより感じられる「うるおいのみどりづくり」、商業地や行楽地において、花と緑の空間をより楽しめる「にぎわいのみどりづくり」、京都ならではの街路樹の景観、緑の文化や公園を、市民や事業者と一緒に、守り、育てていく「はぐくみのみどりづくり」を推進していく。

施策名	2501	幹線道路ネットワークの充実
-----	------	---------------

指標名	第1次緊急輸送路における道路改良延長 (km)	
-----	-------------------------	--

担当課	道路建設課	連絡先	222-3577
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

災害などの緊急時に他の府県からの輸送ルートとなる高規格道路、直轄国道等と京都府庁、京都市役所を結ぶ路線（第一次緊急輸送路）における道路改良延長（都市計画道路を除く）

### 2 指標の意味

真に必要な緊急輸送路における改良率を示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：（執行事業費÷総事業費）×計画総延長  
出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	0.06	0.004	0.056km減	0.01	緊急輸送路整備目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	40.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-				

### 5 評価基準

単年度目標に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上80%未満  
c：40%以上60%未満  
d：20%以上40%未満  
e：20%未満

### 6 基準説明

道路改良を進めるに当たって、事業対象地の地権者及び地域住民の合意形成・協力が必要不可欠であることから、当該年度の目標整備延長と比較して達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。

### 7 評価結果

平成30	令和元	令和2
d	a	c

指標名	緊急輸送道路における橋りょう耐震補強率 (%)	
-----	-------------------------	--

担当課	橋りょう健全推進課	連絡先	222-3561
-----	-----------	-----	----------

### 1 指標の説明

災害時における避難ルート及び救援車両等の通行の確保と市域の骨格となるネットワークを形成するための緊急輸送路上に位置する橋長15m以上の橋りょうの耐震補強完了率

### 2 指標の意味

災害時に道路ネットワークが形成されていることを示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：対策済橋りょう数÷対象橋りょう数  
出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	84.2	84.2	増減なし	91.2	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために必要な当該年度の進捗割合	92.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	98.2	令和3年度	85.7%	「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」（第2期）(H29～R3)に掲げる緊急輸送道路上の14橋を耐震補強

### 5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上～80%未満  
c：40%以上～60%未満  
d：20%以上～40%未満  
e：20%未満

### 6 基準説明

・緊急輸送路上の耐震補強が必要な橋りょうの耐震補強完了率。  
・財政状況の寄与度が比較的高いことから、最新数値を目標値と比較して、達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。

### 7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	a